

矢野大和新聞

CD録音が5月6日に決定！2本録りで内容は「ザ・大分県と今までの集大成」



私の口演の時はいつも前が空いている・・・5月は満席になりますように

5月6日に録音決定！全国版CD第2弾が発売される事になりました。たいへんありがたい事です。5月6日曜日の午後1時～5時の4時間でその収録をする事にしました。会場は大分市のコンパルホールの4Fの大会議室です。テーマは「ザ・大分県」です。大分のネタをしゃべり、今までしゃべったネタも入れて収録したいと思っております。そもそもこの話は、私の大家である従兄弟（高砂ビル社長）が、以前このビルの店子として入っていた元ポリドールレコード大分営業所の所長さんの前田さんに、私のCD（自費出版）を送ってくれた所、興味を持ってもらい一昨年の発売の運びとなったのです。何とか一万枚に手が届く見込みとなり、今回二枚目発売の見通しとなりました。当日会場の入場は無料です。皆さまの笑い声がお運びくださいませ。皆さまの笑い声がCDに収録されますので、一人でも多くの方に来て頂き、笑って頂ければと思っております。是非お出かけ下さいませ。

友人の会3300人の会
現在300名突破



第 2 号
平成 24 年 4 月 1 日
発行：矢野大和事務所
発行責任者：矢野大和



「セーノ」に連載始まる



大分に、「大分合同新聞社」という新聞社があります。そのグループ会社においたインフォメーションハウス（株）が発刊している月刊誌に「セーノ」という大変人気の高い読み物があります。その社長の宮崎和恵さんから「火」というテーマで取材を受けた際、その時の落語の断を題材に寄稿依頼がありました。そこで今年の4月から連載で書かせて頂く事になりました。（本当は私がお願いをしてスペースを頂きました。）大変ありがたい事です。4月号だから題材をまずは「花見」で書きました。5月から来年の3月まで落語中心の笑い断をなんとかかいてみたいと思います。5月1日号は「のぼり」6月1日号は「雨」古典落語の紹介と自分の身近な小断を書いてみようと思っております。わくわくドキドキ連載ページが楽しみですね。皆さん機会があったらどうぞみてやって下さいませ。

**第1期、第2期合同懇親会
▲第3期も4月から募集▼**



話し方教室 第1期、第2期メンバー

「大分合同新聞社主催 話し方教室」の教室生が20名を超えてました。そこで全員で交流会を持ちました。第一期生6名、第二期生2会場で8名と7名の計15名、計21名の方々が一堂に会して懇親会をし大いに盛り上がり、大喜び。皆さん自己紹介も慣れたもので、趣向をこらした(?)自己紹介に大受けでした。私が口演先で貰ってきた焼酎をビンゴゲームの景品に出すと、大いに盛り上がり、期を超えた交流ができました。その勢いに乗り第3期生も6名募集する事になりました。4月から9月までの10回です。

▼「わさだタウン教室」

097・541・0481まで御連絡下さいませ。はたまた申し込み数はいかに。

飯塚市にて懇親会

第一期の卒業生6名は本当に仲が良く、私の知らない所で忘年会や新年会を催しています。私はありがたいと思っています。その中で卒業生の一人が飯塚市で講師として招待されました。さっそく第一期生全員でその話を聞くという事になり、大和事務所からもスタッフ数名大分から車で片道3時間の飯塚市に向かいました。途中雪が舞う寒い日でしたがなんと到着、人権同和講座の講師は初めてである彼の緊張をひしひしと感じながら、講演に聞き入りました。終了後お世話になっている嘉麻市の橋垣さんが懇親会の席を設けてくれて、23名の大懇親会となりました。その席では幻の焼酎「魔王」も登場し、事務所のスタッフも舌鼓を打ちました。懇親会は大いに盛り上がりましたが、講師の彼は最後まで緊張していたようです。お酒の味は果たして楽しめたでしょうか?はじめての経験だったから無理もないと思うが、第一期生の団結力には脱帽です。皆さん、お疲れ様でした。

**ありがとうございます。
「家の光協会」様**

私に「本を書きませんか?」と声を掛けてくれたのは、忘れる事が出来ない恩人、堀内君という家の光協会の図書部の方でした。「家の光」と聞いた

時に私はどこかの宗教団体かと思っていました。読者層が農家を中心としている、老舗の出版社だということが分かりました。それ以来「笑って元気」という本を3シリーズ出させて頂いて、本当に迷惑を掛けています。お陰様で在庫も、だいぶ少なくなっているらしいです。その理由は農協の女性部(農家の女性達で構成)が総会や研修会で講師が必要らしくて家の光の方々が私を推薦してくれて、各地で口演会をした時に書籍を売らせて頂いているからです。1月〜3月も千葉県松戸市、大阪府茨木市、岐阜県高山市と九州に住んでいると減多にいけない所を世話して頂いています。本当に感謝に堪えませんが、続々「笑って元気」という本がすべて売れたらまた本を書かせて下さいませ。またその御縁で、作家を紹介してくださいと言われて三人程紹介させていただき、そのうちの二人は本が出版出来たのです。こんなに嬉しい事はありません。本を書きたい方は、ぜひ、御一報くださいませ。

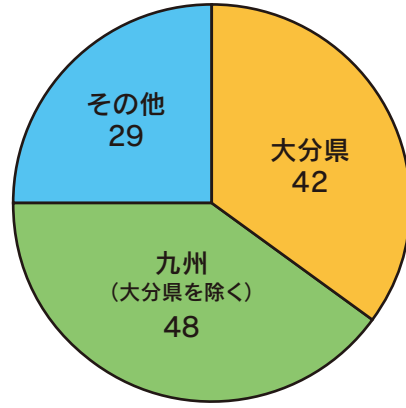


**ブログに書けない
ごみだけの話**

私の仕事のスケジュールを管理してくれているのがスタッフ「O」。優秀でおほめの御言葉を良く頂く。相手の提示する口演料があまりにも高いところから値切ってあげる程に、相手の事を良く考えるマネージャーで、わざわざ会いに来られる方もいる。

さて2月に岐阜県高山市にお邪魔した際「O」が減多にない事だが信じられないミスをした。今はもう時効だから笑い事であるが、福岡空港から名古屋空港、バスで名古屋駅それから名古屋線を経由し飛騨高山に行く。午後10時には到着するルートを設定して置いていた。名古屋空港からバスで名古屋駅まで30分位、最終の特急で飛騨高山へ。楽しい旅の予定だった。所が愛知県には名古屋小牧空港と中部国際空港の二つの空港があり、「O」が私にくれていたタイムテーブルは小牧空港発。チケットは中部国際空港到着。私は小牧空港に降りているものとはかり思っているの、当然「O」の指示通り名古屋駅行きのバスを探す。しかしバス停がかなり遠い。おまけに誰もいないせいか「すこく綺麗」乗客が足早に駅へと向かっている。バスの前に電車は無かったはず!と思いつきながらあきらめずバス停を探す。スタッフに尋ねてみると「名古屋駅行きのバスはありませんよ」とつれない返事。駅に行くなら名鉄電車で行ってください。慌てて掛け乗ったその電車が人身事故で立ち往生。泣きつ面に蜂とはこのこと!ようやく名古屋駅までたどりついたが、最終の特急に間に合わず、各駅停車を乗り継いで最終目的の飛騨高山へ到着したのは夜中の1時前。何と4時間もかかってしまった。次の日の口演は午後からだだったので何とかゆとりがあったが苦しい思い出の旅になってしまった。空港はしっかりと確認したものである。

1月～3月までの 1200回の分析



口演数 平成24年1月から3月

1月から3月までの口演回数が出たので載せてみます。4月から6月までは毎年本場に少ないので、1月から3月までで回数を稼がないと400回を超す事は出来ません。ありがたい事に119回もあつたようです。ひとまず安心です。呼んで頂いた方々に感謝、感謝です。いちばん遠いのは仙台市。それから千葉県松戸市、白井市、そして岐阜県高山市と続きます。後は西日本を中心に九州の方々が呼んでくれています。4月から6月は、この半分の50回が取れば本場にありがたい。「ザ・がまん」の月なのです。この三カ月間だけ見ると、昨年を上回る事が出来たのは本場にうれしいうれしいです。このペースが続くように頑張りたいと思います。

北海道から沖縄

全国をすべて回りたいと思って始めた口演活動も、宇目町観光大使就任から数えて、今年で十一年目となる。それ以前にも、落語の会をおして大分県内を口演していたので、全てを合わせると四千回にはなっていると。その過去の軌跡を今一度振り返り、検証してみたいと思う。北海道、間違いなく行っている。札幌市の生涯学習課、そして北海道庁上川支所旭川市に二回、愛別町、計五ヶ所ほどお世話になっている。沖縄県は三回行っている。那覇市に二回、西原町に一回、計三回よんでいただいる。北海道と沖縄にも友人の会を作りたいのですが、なかなかできないのが現状ですね。

地元、宇目で口演

地元、佐伯市からの依頼が増えました。しゃべる人間にとっていちばん嫌な事は、知っている人の前でしゃべる事です。口演はやはり、いい事を言わなければならぬ。聞いてくれる人を、満足させなければならぬ。わかりやすく言つと、「さすがー!」「あいつ頭いいじゃん」などと思われたい欲があるために、知らない人の前でしゃべる方が楽なのです。ところが、今年の一月から三月は、地元の佐伯、特に私のふるさと宇目の口演が二本もあつたのです。ひとつは高齢者教室、もうひとつ

ちんごだんご



はNPO法人宇目まちづくり協議会の発足総会での口演です。田舎の幸福論をテーマに話をさせて頂きました。これは、はつきり言つて緊張しました。しかし、やはり、地元から呼ばれるのはありがたいことです。

一月から三月までは、鹿児島市の口演が本場に多かった。鹿児島市、大崎町、曾於市、霧島市、阿久根市、肝付町です。合計、10箇所も回らせていただいた。みなさんはご存知だろうか。川内市に「ちんごだんご」というのがある。本場にあるのかと聞いてみたら、本場にあるのです。面白いから記念写真を撮らせてもらった。どんな団子が出てくるのか興味津々でいたところ、ごく普通の団子。地元では「しんごだんご」だったのが、訛つて「ちんごだんご」になったそう。鹿児島市の薩摩川内市に行かれたら、駅の売店に大きなのぼりが出ているからご覧下さいね。テレビにも出て、いちやく有名になったとか・・・。旅は本場に面白いです。

県南落語組合

もうひとつ役職が増えました。今年の1月から「県南落語組合」の会長にありがたくもなつてしまいました。泥谷元会長のお陰で28年も続いたこの会をもっと長続きさせるためにはどうしたらよいか、本場に大変な事と思いますが、ありがたい事に17名の仲間がいます。彼らがしっかりしているのです。なんとかやれるかなと思つています。私も毎年秋に行われる「県南寄席」で一席落語をしなければならなくなりました。たいへんな事でございます。

友人を紹介してください

「3000人の友人の会」を実現するため、貴方の友人を一人紹介してくださいませ。お陰様で約3000人と目標の1割に近づきました。本場にありがたい事です。昨年の11月からはじめて、まだ半年もたたないのにもう一割です。でももっと加速度的に増やしたいので皆さんの友人を紹介して下さい。出来たら皆さんの住んでいる町の隣の町（合併前に隣町ならOK）で一人作つてくれたらこの新聞を送らせて頂きます。はつきり言つてどれくらい出来るかわからなかったのですが、市町村で数えたら約100市町村はあるかと思ひます。皆さんのご協力お願い致します。

<http://yanotaiwa.com/>

お宮の話 (その二)

第1号にて大分合同新聞の記事に載った、私が奉職をしている「鷹鳥屋神社」の記事が結構仲間の皆さまの心を打ったようでお参りをさせて頂いている方がたくさんいたのに驚いた。感謝に堪えません。

それで今回はそのお宮を支えている方々を紹介をさせて頂きませ。お宮は元来国の土地を、宗教法人であるお宮が借りて、宗教活動をしています。皆さんの近くにある、氏神様と呼ばれている神社も一つ一つ独立した宗教法人なのです。「法人」という事は「人と同じです」ので、利益を出すこともできません。神社の土地を駐車場にしてお金ももらっている所もあるはずですが「法人」になるためには登記しなければ

ならず、宮司さんの資格を持つて神社本庁から任命を受けたものが代表になります。鷹鳥屋神社の責任役員は4名いて、そのうちの「代表は宮司を以ててあてる」という規約により私がさせて頂いているのです。どのお宮も登記を以てその代表は宮司さんなのです。では残り3名の責任役員は誰かと言つと、鷹鳥屋神社では総代さんの中から3名を選任させて頂いています。総代とは宮司を助けて祭祀や運営をボランティアで助けてくれる敬神崇祖の志ある方々で、名誉職なのです。ありがたい事に我が町宇目町にはこのような方がいらつしやるのです。田原地区の総代・野田明さん、上津小野地区の総代・小野幸一郎さん、中津留地区の総代甲斐義久さん、の方々です。他の地区からも総代さんになって頂いていて、鷹鳥屋神社では14名の総代さんと、会計さんそして鍵取さん、計16

名で色々な行事をやっているのです。皆さん、本当に人格の素晴らしい方で、力も、信用も無い宮司を助けて頂いて、お宮を守ってくれています。紙面を借りてお礼申しあげます。

▼野田明さん(総代長)

田原地区出身で、元町議会議員をしていました。田畑、山の仕事をされています。美味しいお米を作る事で有名です。すべてのお米があつという間に売れて行きます。たいへんなお世話やきさんで地区にとつてもなくてはならない人なのです。

▼小野幸一郎さん(副総代長)

私の同級生のお父さんで私ほとても良くしてもらっています。総代さんになつてもらい、副総代としていつも皆さんをまとめてもらっています。この方も山の仕事(特にしいたけ)をされています。

▼甲斐義久さん(副総代長)

知る人ぞ知る名和牛を育てるプロフェッショナルで、甲斐さんが育てる牛はその姿や肉付きから常にトップで落札されるといふ程の名牛を育てられる方です。

他の方々も順次紹介させて頂きます。私が奉職しているお宮には他のお宮と違う、「鍵取りさん」という役職があります。やはり矢野さんといつて私の家とは家親類(遠戚)にあたり、何代もお付き合いをさせて頂いています。この二人がそろわないと「神事」が出来ない状況で切つても切れない関係なのです。この方も宇目町の議員さんな何期もされた方で今私の仕事の変わりをやってくれています。とても声が綺麗



甲斐さん

野田さん

小野さん



完成した注連縄



注連縄作り

麗で、私よりも祝詞を読むのが上手な人ですよ。1月1日に元旦祭を行い、3月18日7月18日9月18日12月18日、それぞれに祭を行つて、各地区代表の総代さん方と、全地区の無病息災を祈つていふのです。10月号に椿原祭典のことを書こうと思つています。これは、各地区の総代さんと区長さんを中心に祭典執行委員会を作り、鷹鳥屋神社の一大イベントとなる神幸祭です。この祭りを維持していくのが本当に大変なのです。今度書かせて頂きます。